令和８年度

長浜北高等学校　学校評価

本年度の重点目標

人格を陶冶し、自立と共生の精神を培い、社会に貢献できる人材を育成するために、次の4点に重点を置く。
①主体的に学び、考え、判断する力と多様な他者と協働する力が育つ学習環境づくり
②夢を描いて自己の可能性を追求し、自己実現を目指す進路指導
③自らを尊び、他者を思いやる心を育み、個が生きる安全安心な集団づくり　④大学や地域と連携した学校づくり

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価（10月）	総合評価（3月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	・特色ある学校づくりに努めるとともに、生徒が協働することを通して活気ある学校づくりを推進している。	A		
	・学年・分掌・教科目標を設定し、改善を積み重ねて信頼される学校づくりを推進している。	A		
2　学習指導	・生徒の学習意欲を引き出すために、指導内容や指導方法の工夫・改善に努めている。	A		
	・シラバスや授業アンケート等を生かし、生徒の学習習慣の確立や学力の向上に努めている。	A		
3　生徒指導	・規律ある生活習慣確立と規範意識の高揚を目指し、きめ細かな指導に努めている。	A		
	・さわやかで礼儀正しい挨拶・その場にふさわしい態度の育成を図っている。	A		
	・いじめの未然防止や早期発見・早期対応に努め、生徒が安心できる環境づくりに努めている。	A		
4　進路指導	・早期からの系統的なガイダンス機能の充実に努め、高い目標に向かうチャレンジ精神を育てている。	A		
	・進路選択に必要な情報収集を行い、きめ細かに生徒に提供している。	A		
5　特別活動等	・学校行事や生徒会行事等に生徒が主体的に取り組めるよう工夫している。	A		
	・部活動の充実を図るとともに、技術の向上と人間性の育成に努めている。	A		
6　学校図書館	・朝読書の実施や図書館だよりの発行により、読書の楽しさや意義を伝える工夫をしている。	A		
	・利用者の実態や学習に役立つ図書の整備と充実に努めている。	A		
7　保健・安全指導	・保健室と連携して、健康指導や病気・けがの対応を適切に行っている。	A		
	・教育相談・特別支援教育の体制を確立し、早期に組織的な対応を図っている。	A		
	・危機管理意識を高め、通学途上や校内での安全確保に努めている。	A		
8　人権教育	・生徒の人権を尊重する視点を全ての教育活動の中に取り入れている。	A		
	・一人ひとりが尊重され、明るく生き生きとしたクラスや学校づくりに努めている。	A		
9　環境教育	・ゴミの減量化等環境に配慮した取組をしている。	B		
	・教科学習や学校行事においてSDGsの視点を取り入れて環境学習に取り組んでいる。	B		
10　事務・管理	・施設・設備・備品等の点検を行い、適切に維持管理している。	A		
	・個人情報の取扱い、保管を適切に行っている。	A		
11　その他 学校の取組	・教職員は、通信やHPなど学校の教育活動を積極的に情報発信している。	A		
	・地域に根ざした教育活動と情報発信等を行い、開かれた学校づくりに努めている。	A		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。

・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はA、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はB、
あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はC、達成できていない場合（達成度40%未満）はDとする。

学校のＵＲＬ：　https://www.nagahamakita-h.shiga-ec.ed.jp/